

## 「授業力向上研修会」報告書

日 時	2019年5月28日(火)
研 修 名	「公開授業 (DVD 視聴) と授業づくり」(市川伸一東大教授) 学習会
研修の目的	前年度の教育講演会の成果を共有し、授業改善への方策についてアイデアを出し合い授業づくりの学び合いにより授業力を高めていく。
テ ー マ	「理論と実践 ー学力と学習支援の心理学『習得の授業デザイン』からー」
会場・場所	北部生涯学習推進センター (研修室)

### 1. 研修の内容

「学力と学習支援の心理学『習得の授業デザイン』」をテーマとして、まず、市川伸一先生のDVD教材で 教えて考えさせる授業づくりの意義等について説明を受けました。次に、小学校教諭とのT.T.授業実践の紹介から、教授法の理論と実践を学びました。授業内容は、小学校5年の教材で、①算数は「合同」、②国語は『大造じいさんとガン』の「あっぱれ」をまとめよう!」でした。さらに、本県で「教えて考えさせる授業」を実践し、学力向上を図られた井口憲治教頭(松田小学校)にその取り組みを紹介してもらいました。

### 2. 成果と活用策

成果は、参加者から以下のような授業改善への活用策が出されたことです。

- スキルも大切であるが、言葉を大切にしていきたい。
- 「自分ごととして考える」この言葉を大切にします。
- 算数での「活動、教える、考える」を関連させて授業の組み立てを考えていきたい。国語でも色々な展開を知ることができた。「言葉」大切にしていきたい。
- DVD で見た内容をまねして早速、実践してみます。

### 3. 感想及び要望

受講者のアンケート

- 「教えて考えさせる児童にやりがいのあるいた。学校にもって来てみたい。



をのせます。

授業]ですべての児童授業になると気づ帰って、ぜひ取り入

- 問題解決に視点を当てがちですが、“考えるべきこと、考えさせること”の重要性を改めて感じました。
- 今回の研修を通して、私たち教員がしっかりと教えるために“定義を知っておくこと”、“何をどう教えるかをしっかり計画しておくこと”が大切だと感じました。

○問題解決型の授業ばかり考えていた私にとって、教えて考えさせるは新しい発見となりました。用語を教えてから入ると、苦手な子も救えそうな気がしました。さらに応用問題まで解けると得意な子もやる気が続くのかと。「教えるところを組み立てて授業づくりをしたい」と思います。

○その後の課題や成果についても活かしていきたいです。

○「教えることは悪いことではが、とても嬉しいです。いろいろがあつていいと思いまし

○市川先生の DVD だけではなく実践した井口先生のお話も聞け

です。もっと詳しくお聞きしたかったです

○開会のあいさつで、“言葉を理解させてからの授業”が重要という大切なことを教えて頂き、それから DVD を見て“考える”という時間を過ごしました。また、視聴後にグループワークで意見や感想を話すために“自分ごと”になったこと、研修（授業づくり）のポイントを、今日のこの研修で経験させて頂きました。研修の流れにも感謝しています。」

「このような授業研のもち方が学校でもできると思いました。今後も、ぜひ、国頭地区の授業を取り上げてもらい、協議してみたいです。」



て校内研で

ない！」これんな型の授

た。く、実際に実て良かった

#### 4. 企画者の感想

前年度実施した市川伸一東京大学教授の教育講演会「習得における『主体的・対話的で深い学び』～教授と活動のバランスに配慮した授業づくり～」が好評で、DVDの視聴を希望する声が多かったことから、今回の学習会を企画し、授業改善への活用をテーマに学習会を実施しました。DVDを借りて視聴することもできますが、他人との意見交換の中からより深い授業研究会が可能になるという考えで研修の流れを工夫しました。10名＋センター職員という少ない学習会でしたが、深い学びがあったと思います。次回は国頭地区の先生方の授業を取り上げて授業づくり学習会も実施できればいいと思います。

また今後、井口先生の詳しい実践報告会を改めて企画したい。